

活動報告

家族介護に関するアンケート調査報告

会員ライフサポート部 清川 恵子

会員ライフサポート部 活動報告 第1報

今回は、昨年7月に皆様をお願いいたしました“家族介護に関するアンケート調査”の結果をご報告させていただきます。ご協力くださった皆様、お忙しい中ありがとうございました。

私たちはこれまで出産育児に関連した事業を中心に活動してきました。その中で「家族の介護」についても取り上げていく必要性を感じるようになっていき、このアンケート調査を実施するに至りました。どのくらいの会員が家族の介護に直面しているのか、どのくらい将来の介護負担に

ついて問題意識があるのか。私たちは想像してみるものの、実際どうなのかは検討が付きませんでした。

介護は子育てと違い、時期、期間、負担の内容などが想定しにくく、自分の問題として意識しにくい面があります。しかも誰もが当事者となる可能性がある問題です。

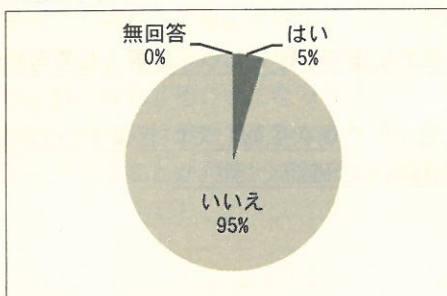
今回のアンケート結果は、その私たちの想像に近い結果が得られたと考えています。第1報では“介護の現状と不安について”を中心にご報告いたします。

有効回答者数945名、回収率27.4%

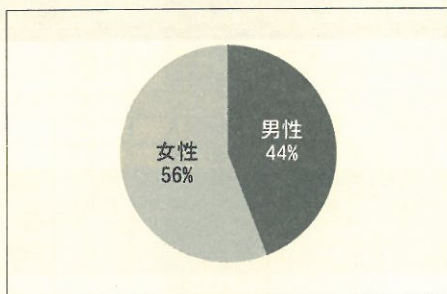
回収率内訳：【性別】女性28.8%（460名）、男性26.1%（438名）

【年齢】40歳代32.4%（152名）、30歳代31.4%（364名）、50歳代28.9%（35名）、20歳代26.2%（378名）、60歳代以上21.6%（11名）

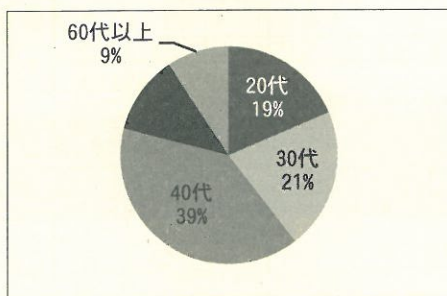
◆現在、介護していますか



◆介護中の人の性別

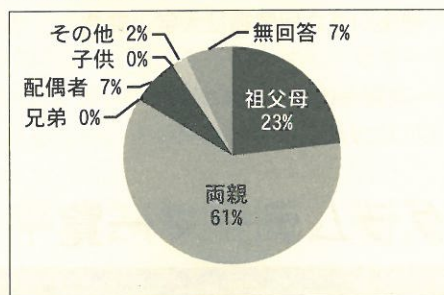


◆介護中の人の年代別

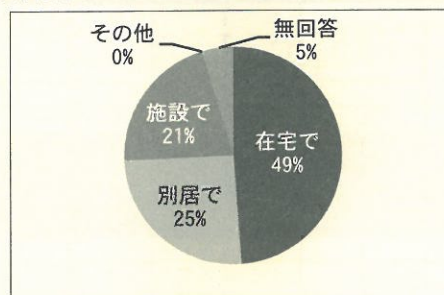


以下、「現在、介護している」と答えた方

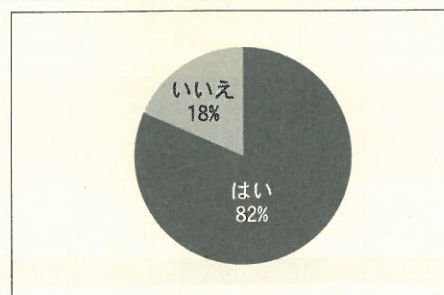
◆介護対象は



◆介護状況は

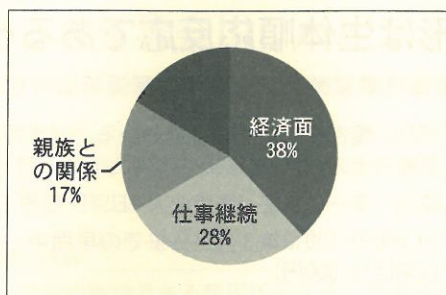


◆介護について不安や負担を感じますか





◆どのようなことに不安や負担を感じますか

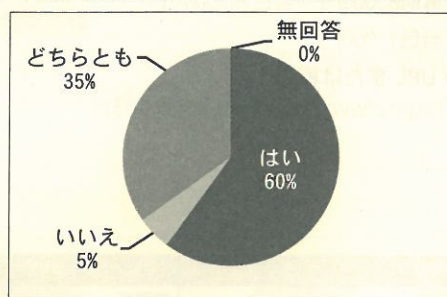


その他のコメント

1. 体力的
2. 精神的
3. 遠距離であること
4. 外出時の移動など介護量
5. 急変時の対応
6. 在宅で介護できなくなったとき

以下、「現在、介護していない」と答えた方

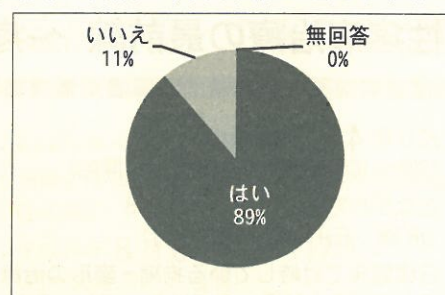
◆今後、介護を担っていく可能性はありますか



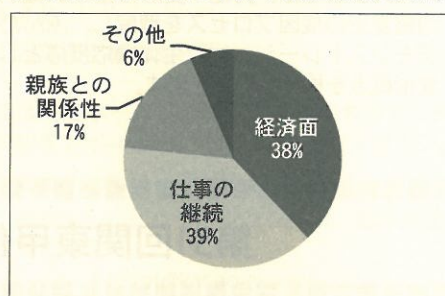
現在介護中、または将来の介護の可能性ともに性別、年齢に割合の差はほとんどなく、理学療法士としての知識や経験があっても「不安」との声は圧倒的に多く得られました。これは、誰にでも家族介護の問題は起こりえる問題であることを再認識させられる結果でした。

反省点として、今回は「郵送法」で短期間に調査したため回収率が低くなってしまい、会員がどのくらい家族介護に直面しているかについては不十分なものとなってしまい

◆将来の介護へ不安や負担を感じますか



◆どのようなことに不安や負担を感じますか



その他のコメント

1. 精神的
2. 体力的
3. 遠距離であること
4. 時間的制約、ライフスタイルの見直し
5. 実際に介護できるか
6. 施設など社会資源の利用について
7. 介護休暇など制度について
8. 家族への負担、協力が得られるか

ました。しかしながら、介護による就業問題についての「関心の低さ」が表れていることも否定できません。このことから、就業継続の問題に家族介護があるということ、そして、それは決して他人事ではないことを広く認識してもらうことが重要であると認識いたしました。

次回、第2報では“具体的な介護内容と介護不安”についてご報告する予定です。

総会告示



社団法人 神奈川県理学療法士会 第31回通常総会

※総会に出席できない場合は、必ず委任状を提出してください。

日時：平成24年3月25日（日）14時30分

場所：国際医療福祉大学小田原キャンパス 6階体育館

〒250-8588 小田原市城山1-2-25